

特許協力条約

PCT

REC'D 01 SEP 2005

WIPO

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 04R00295	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/005428	国際出願日 (日.月.年) 15.04.2004	優先日 (日.月.年) 17.04.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ H04N5/44		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. 附属書類は全部で 5 ページである。

指定されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータを含む。 (実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- 第II欄 優先権
- 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- 第IV欄 発明の單一性の欠如
- 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- 第VI欄 ある種の引用文献
- 第VII欄 国際出願の不備
- 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 16.02.2005	国際予備審査報告を作成した日 16.08.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 古川 哲也
	5C 9746
	電話番号 03-3581-1101 内線 3541

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
- PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
- PCT規則12.4にいう国際公開
- PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。（法第6条（PCT14条）の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。）

出願時の国際出願書類

明細書

第1-40 ページ、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

請求の範囲

第4,7,8,11-15 項、出願時に提出されたもの
第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第1,3,5,9,16 項*、16.02.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

図面

第1/12-12/12 ページ/図、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ/図*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ/図*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

- 明細書 第 _____ ページ
- 請求の範囲 第2,6,10 項
- 図面 第 _____ ページ/図
- 配列表（具体的に記載すること） _____
- 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること） _____

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。（PCT規則70.2(c)）

- 明細書 第 _____ ページ
- 請求の範囲 第 _____ 項
- 図面 第 _____ ページ/図
- 配列表（具体的に記載すること） _____
- 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること） _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 <u>1, 3-5, 7-9, 11-16</u>	有
	請求の範囲 _____	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 <u>1, 3-5, 7-9, 11-16</u>	有
	請求の範囲 _____	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 <u>1, 3-5, 7-9, 11-16</u>	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1 : J P 2003-87673 A (ソニー株式会社)
2003. 03. 20, 全頁, 全図

文献2 : J P 2002-34023 A (ソニー株式会社)
2002. 01. 31, 全頁, 全図

文献3 : J P 2002-344832 A (船井電機株式会社)
2002. 11. 29, 全頁, 全図

文献4 : J P 2000-184301 A (船井電機株式会社)
2000. 06. 30, 全頁, 全図

文献5 : J P 6-245266 A (ソニー株式会社)
1994. 09. 02, 全頁, 全図

請求の範囲 : 1-16

AV出力装置において、チャネル特定情報を参照し、アップダウン入力操作をチューナ部において直接選局を行わせるためのダイレクトコマンドに変換する技術事項に関しては、国際調査報告及び国際調査機関の見解書で引用した上記文献1から5の何れにも、記載も示唆もされていない。

請 求 の 範 囲

1. (補正後) チャネル選択を行うチューナ部と、該チューナ部により選局された放送情報とそれ以外のデータとの送受信を行う第1の送受信部と、を有するワイヤレスセンタと、

表示部と、前記チューナ部に対して選局処理を促すための入力操作を受け付ける選局入力部と、前記放送情報を受信するとともに前記第1の送受信部との間をワイヤレスでデータの送受信が可能な第2の送受信部と、前記入力操作においてチャネルのアップダウン入力操作が行われた場合に、前記アップダウン入力操作により選択されたチャネルを特定するためには参考可能なチャネル特定情報を記憶する第1チャネル特定情報記憶部と、を有するAV出力装置と、を有するワイヤレスAVシステムであって、

前記AV出力装置は、さらに、前記チャネル特定情報を参考し、前記アップダウン入力操作を、前記チューナ部において直接選局を行わせるためのダイレクトコマンドに変換するコマンド変換部を有することを特徴とするワイヤレスAVシステム。

2. (削除)

3. (補正後) 前記第1チャネル特定情報は、前記アップダウン入力操作により選択されたチャネルに局が登録されているか否かを現在の選局チャネルを基準にして示す情報を有することを特徴とする請求項1に記載のワイヤレスAVシステム。

4. 前記第1チャネル特定情報は、前記チューナ部において実行されたチャネルスキャンの結果に基づいて得られたスキップ情報を有し、前

4 2

記ワイヤレスセンタから前記AV出力装置へ送信されたものであること
を特徴とする請求項3に記載のワイヤレスAVシステム。

5. (補正後) チャネル選択を行うチューナ部と、該チューナ部により選局された放送情報とそれ以外のデータとの送受信をワイヤレスで行
う第1の送受信部と、を有するワイヤレスセンタであって、

該ワイヤレスセンタとは分離して設けられ前記チューナ部により選局
された放送情報を表示する表示部を含むAV出力装置からの前記チュ
ーナ部に対する選局処理を促す入力操作に応じて生成されチャネルを特定
するためのチャネル特定情報を記憶する第2チャネル特定情報記憶部を
10 有しており、

さらに、前記第2チャネル特定情報記憶部に記憶された前記チャネル
特定情報を一括して前記AV出力装置に送る制御を行う第1制御部を有
することを特徴とするワイヤレスセンタ。

6. (削除)

15 7. 請求項5に記載のワイヤレスセンタを動作させる制御プログラム
であって、コンピュータを上記のチューナ部、第1の送受信部の少なく
ともいずれか1つとして機能させるためのワイヤレスセンタの制御プロ
グラム。

20 8. 請求項7に記載のワイヤレスセンタの制御プログラムを記録した
コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

9. (補正後) 表示部と、該表示部とは分離されて設けられたワイヤ
レスセンタのチューナ部に対して選局処理を促すための入力操作を受け
付ける選局入力部と、前記ワイヤレスセンタから送られる放送情報を受
信するとともに前記ワイヤレスセンタとの間でワイヤレスでデータの送

受信が可能な送受信部と、前記入力操作においてチャネルのアップダウン入力操作が行われた場合に、前記アップダウン入力操作により選択されたチャネルを特定するために参照可能なチャネル特定情報を記憶する第1チャネル特定情報記憶部と、を有するAV出力装置であって、

5 前記入力操作においてチャネルのアップダウン入力操作を行った場合に、前記第1チャネル特定情報記憶部に記憶されているチャネル特定情報を参照して前記アップダウン入力操作により特定されたチャネルを直接選局するためのダイレクト選局コマンドを生成し前記ワイヤレスセンタに送る制御を行う第2制御部を有することを特徴とするAV出力装置
10 。

10. (削除)

11. 請求項9に記載のAV出力装置を動作させる制御プログラムであって、コンピュータを上記の選局入力部、送受信部の少なくともいずれか1つとして機能させるためのAV出力装置の制御プログラム。

15 12. 請求項11に記載のAV出力装置の制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

13. チャネル選択を行うチューナ部を有するワイヤレスセンタと；
表示部と、前記チューナ部に対して選局処理を促すための入力操作を受け付ける選局入力部と、記憶部と、を有するAV出力装置と；の間に
20 における選局方法であって、

前記入力操作に基づいて、前記チューナ部が選局を行うステップと、
前記チューナ部の選局結果に基づいて各チャネルに局が登録されているか否かに関するスキップ情報を含むチャネル特定情報を収集し、該チャネル特定情報を前記AV出力装置にワイヤレスで送るステップと、

4 3 / 1

送られた前記チャネル特定情報を前記記憶部に記憶し、前記選局入力部におけるアップダウン選局操作に応じて、前記記憶部に記憶されている前記チャネル特定情報を参照することにより特定されたチャネルを検

るか否かに関するスキップ情報を含むチャネル特定情報を収集し、該チャネル特定情報を一括して前記AV出力装置側にワイヤレスで送るステップを有することを特徴とする選局データ生成方法。

16. (補正後) チャネル選択を行うチューナ部と、該チューナ部により選局された放送情報とそれ以外のデータとの送受信を行う第1の送受信部と、を有するチューナ装置と、

前記チューナ装置と分離可能に形成され、表示部と、前記チューナ部に対して選局処理を促すための入力操作を受け付ける選局入力部と、前記放送情報を受信するとともに前記第1の送受信部との間でデータの送受信が可能な第2の送受信部と、前記入力操作においてチャネルのアップダウン入力操作が行われた場合に、前記アップダウン入力操作により選択されたチャネルを特定するために参照可能なチャネル特定情報を記憶する第1チャネル特定情報記憶部と、を有するAV出力装置と、を有するAVシステムであって、

15 前記AV出力装置は、さらに、前記チャネル特定情報を参照し、前記アップダウン入力操作を、前記チューナ部において直接選局を行わせるためのダイレクトコマンドに変換するコマンド変換部を有することを特徴とするAVシステム。